

3.1.1	請求記号	JP-1005490-香取秀真旧蔵資料
3.1.2	タイトル	香取秀真旧蔵資料 KATORI Hotsuma Papers
3.1.3	年代域	旧蔵書籍を除き、確認できる範囲で1891（明治24）年9月24日～1954（昭和29）年1月23日
3.1.4	記述レベル	フォンド
3.1.5	数量と媒体	ファイリング・キャビネット引き出し5個、紙媒体
3.2.1	作成者名称	香取秀真
3.2.2	組織歴・履歴	「香取秀真」（『日本美術年鑑』昭和30年版、pp.171-173、物故者）を参照のこと <a href="https://www.tobunken.go.jp/materials/bukko/8770.html">https://www.tobunken.go.jp/materials/bukko/8770.html</a>
3.2.3	伝来	<p>作成者の没後、遺族によって整理されたのち、1964年に香取秀真氏未亡人香取住江*氏により東京国立文化財研究所に、未刊調査録、自作工芸品の意匠図案、訂補書入自著および美術図書等多数が寄贈された（「美術研究所所報 昭和三十九年」『美術研究』第240号、1966年3月、p.34）。以降、遺族からの寄贈は数回に渡った。寄贈資料のうち、未刊調査録、自作工芸品の意匠図案などは「香取秀真文庫資料」として受け入れられた。書籍100タイトル153冊は、1969年11月11日付で「香取秀真文庫」（登録番号13840～13939）として登録され、資料閲覧室の蔵書となった。</p> <p>受入当時から美術部によって管理されてきたが、研究所の組織改編を経て、現在は文化財情報資料部文化財アーカイブズ研究室によって管理されている。保管されている目録には数種類あり、それぞれ作成時期・作成者が異なるとみられる。シリーズ1～6は「香取秀真文庫資料」、後に「香取秀真資料（第1期寄贈分）目録」として、さらに詳細な目録が作成された。シリーズ8、9は「香取秀真資料」として一覧が作成された。シリーズ7には目録が現存しないが、資料番号ラベルが貼付されていた。</p> <p>本資料群は、「香取秀真文庫資料」と、「香取秀真文庫」のうち「香取秀真文庫資料」シリーズ5に組み入れられた訂補書入自著10点を「香取秀真旧蔵資料」としたものである。2022年資料保全作業と既存目録が整理され、2023年に「香取秀真旧蔵資料」として目録が一元化された。</p> <p>*香取秀真逝去時の妻は「たけ江」と表記される（香取秀真「私の生涯」、『中央公論』第784号、1954年1月、p.235）。</p>
3.2.4	収集又は移管による入手先	遺族からの寄贈
3.3.1	範囲・内容	スケッチブック、日記、歌集、原稿、覚書、書簡などの手稿および印譜。原稿には香取秀真以外の筆跡と見られるものもある。日本各地の鐘を中心とする鋳物や鋳物師を対象とする調査記録や実測図、拓本、写真。著者書入れ本を含む書籍、論文抜刷などの出版物、新聞記事の切り抜き。
3.3.4	編成	<p>東京国立文化財研究所にて第1期寄贈分をシリーズ1～6に分類、資料番号の付与と目録作成が行われた。シリーズ7～9は第1期後の寄贈と思われる、シリーズ8と9は一括して目録が作成されている。2022年2月時点で、シリーズ1～9には資料番号が付与されていたため、この資料番号に倣い、第1期寄贈資料中に混在していた未整理資料をシリーズ10として資料群全体を編成した。</p> <p>シリーズ1：図案帳 シリーズ2：調査ノート、実測図、メモ類 シリーズ3：拓本、写真 シリーズ4：印譜 シリーズ5：書籍 シリーズ6：書状類 シリーズ7：追加受入れ資料 シリーズ8：日記・歌集 シリーズ9：原稿類 シリーズ10：未整理資料</p>
3.4.1	公開条件	<p>事前申込制</p> <p>閲覧希望者は、東京文化財研究所資料閲覧室「資料ファイル閲覧の申請について」（<a href="https://www.tobunken.go.jp/joho/japanese/library/materials.html">https://www.tobunken.go.jp/joho/japanese/library/materials.html</a>）に基づき、閲覧希望日1週間前までに「資料ファイル利用申込書」を提出すること。その後、閲覧希望者と資料閲覧室で閲覧日の日程調整をし、閲覧日を決定。</p>
3.4.2	複製条件	著作権法や個人情報保護法等に則った範囲、またプライバシーの侵害がない範囲での利用となるため、複製が制限される場合がある。
3.4.3	言語・スクリプト	主に日本語
3.4.4	物理的特徴・技術要件	写真印画紙を含む紙媒体資料
3.4.5	検索手段	ホームページ上で、PDFファイルにて閲覧可能。紙媒体目録は、資料閲覧室にて貸出可能。
3.5.3	関連記述単位	<p>東京文化財研究所蔵、作家ファイル「香取秀真」</p> <p>千葉県立美術館蔵「香取秀真調査ノート」他、関連資料217点</p> <p>東京藝術大学美術館蔵、香取秀真に関する資料</p> <p>桑名市および桑名市博物館蔵、伊東富太郎宛香取秀真書簡、約300点</p>
3.5.4	出版書誌情報	<p>『香取秀真展』（佐倉市立美術館、2003年）</p> <p>『特別企画展「華ひらく近代工芸の美－板谷波山と香取秀真－」』（桑名市博物館、2022年）</p>
3.7.1	担当者	中村節子（情報調整室）、田村彩子、橋川英規（文化財アーカイブズ研究室）
3.7.3	記述年月日	2023年7月27日／2024年5月24日、12月16日改訂

\* 本表の項目（番号）は、ISAD (G)（国際標準記録史料記述一般原則第2版）の記述エリアとおおむね対応している。

## 内容一覧

■は判読不能な文字をあらわす

シリーズ	資料番号	名称	資料の分量	配架場所	備考
1: 図案帳			9点	G1	
	1-1	計測図集			
	1-2	図案帖			昭和15年4月～17年末
	1-3	図案帳			昭和18年2月
	1-4	図案帳			昭和18年秋
	1-5	図案帖			昭和22年1月初日
	1-6	作品控帳			昭和23年正月
	1-7	図案帳			昭和23年2月
	1-8	図案帳			昭和25年
	1-9	(図案帖)			
2: 調査ノート・実測図・メモ類			103ファイル	G2	
	2-1	調査旅行手帖			大正9年9月～11月
	2-2	調査旅行手帖			大正10年1月～11年5月
	2-3	調査旅行手帖			大正11年11月～13年1月
	2-4	作品覚書			
	2-5	備忘録二、銘文雑載一、菜單帖一、分類索引			手書きリスト「分類索引(備忘録2, 銘文雑載, 菜單帖二関スル)」
	2-6	備忘録一			昭和8年11月修。詳細は紙媒体「香取秀真資料(第一期寄贈分) 目録」を参照
	2-7	備忘録二			昭和15年7月整理。詳細は紙媒体「香取秀真資料(第一期寄贈分) 目録」を参照
	2-8	名物集 抄録			(風炉釜寸法の事…)
	2-9	菜單帖			昭和18年10月製。詳細は紙媒体「香取秀真資料(第一期寄贈分) 目録」を参照
	2-10	梅花亭雜記(わらべ歌、民謡等)			挟み込み1綴(東海道五十三駅慰勞雜歌、他)
	2-11	梅花亭雜記			
	2-12	鑄造要訣			明治30年11月
	2-13	緯楓廬雜綴			明治43年5月。詳細は紙媒体「香取秀真資料(第一期寄贈分) 目録」を参照
	2-14	減金鍍金			
	2-15	名越系図・大西歴代書・釜師由緒・名物釜所持之名寄			
	2-16	大西家代々靈■書記			浄雪編
	2-17	加藤忠三郎家歴代書及文書			
	2-18	関事庵宗信自記苦心録			其4写シ 阪本周斎筆
	2-19	名物釜由緒聞伝控			天保14年ヲ写ス 浄雪編
	2-20	名越家秘伝風炉釜(石川公御好切形の字)			
	2-21	名越家秘伝風炉釜			
	2-22	釜寸法書(名古屋市伊藤氏)			
	2-23	鍋蓋の家に伝はれる伝書			
	2-24	天明鑄物沿革稿			天明鑄物資料1
	2-25	新編相模風土記リノノート			天明鑄物資料2
	2-26	京都市鑄工名譜補足			
	2-27	高田十郎探録 鑄工資料			
	2-28	鑄物師 諸国文書			
	2-29	小泉五郎八盛岡時鐘鑄造顛末			昭和10年 小泉五郎
	2-30	盛岡御釜屋 小泉文書の再発見			昭和11年
	2-31	釜蓋事 鑄匠藤田家系書			昭和11年
	2-32	名古屋 水野平蔵 諸事書上留記・家職由緒之覚			
	2-33	江戸深川釜六事 太田家歴代過去帳			
	2-34	太田家系譜			
	2-35	松林寺鐘鐘一件書			
	2-36	田中七右衛門尉藤原知義			
	2-37	鳥山源正寺過去帳抄出			
	2-38	江戸鑄師書入用 重要美術品台帳リ			
	2-39	曹洞宗全集中の金石文類所載梵鐘中の鑄工 元和以降の諸国の鑄師資料1			
	2-40	江戸時代 他郷の鑄師 元和以降の諸国の鑄師資料2			
	2-41	江戸時代 他郷の鑄師 元和以降の諸国の鑄師資料3			
	2-42	江戸時代 他郷の鑄師 元和以降の諸国の鑄師資料4			
	2-43	江戸時代 他郷の鑄師 元和以降の諸国の鑄師資料5			
	2-44	江戸時代 他郷の鑄師 元和以降の諸国の鑄師資料6			
	2-45	江戸時代 他郷の鑄師 元和以降の諸国の鑄師資料7			
	2-46	江戸時代 他郷の鑄師 元和以降の諸国の鑄師資料8			
	2-47	江戸時代 他郷の鑄師 元和以降の諸国の鑄師資料9			
	2-48	諏訪郡梵鐘の鑄師 諏訪鑄師資料1			昭和19年7月
	2-49	諏訪上社神宮寺五重塔露盤に関する書簡 諏訪鑄師資料2			
	2-50	諏訪鑄物師小島家の事 諏訪鑄師資料3			
	2-51	諏訪郡梵鐘鑄師年表 諏訪鑄師資料4			
	2-52	安養禅寺 慈雲禅寺鐘名 諏訪鑄師資料5			
	2-53	松本市松林右橋氏ノート 諏訪鑄師資料6			松林右橋氏
	2-54	上社拾ヶ所堂御取除キ材木御預帳等3点 諏訪鑄師資料7			
	2-55	諏訪地方の金工 諏訪鑄師資料8			写真17枚、封筒1枚、紙資料1枚
	2-56	諏訪地方の鑄師 諏訪鑄師資料9			拓本5葉
	2-57	打物師平田師家系 諏訪系譜資料1			
	2-58	長寿高家系 諏訪系譜資料2			
	2-59	大島如雲履歴書 諏訪系譜資料3			
	2-60	堆朱家系抄録 諏訪系譜資料4			
	2-61	黒川義勝書状 諏訪系譜資料5			
	2-62	喜兵衛家系 彫金工後藤家系 諏訪系譜資料6			
	2-63	南部鉄瓶同業組合名簿 諏訪系譜資料7			
	2-64	岡倉寛三履歴 諏訪系譜資料8			
	2-65	黒川真頼履歴 諏訪系譜資料9			
	2-66	今泉雄作著書のこと 諏訪系譜資料10			塩田力蔵氏書状
	2-67	丸山瓦全他9通の書状 諏訪系譜資料11			丸山瓦全、吉田金弥、土屋宗庵、伊東富太郎、平瀬宗世、鈴木信一、山田信介、上田三平
	2-68	有章院 惇信院 銅燈臺銘分			
	2-69	惇信院廟			
	2-70	有章院廟 書状付			
	2-71	岩越二郎氏調査梵鐘表 銅燈臺			昭和18年1月 岩越二郎
	2-72	津軽風土記地理志原稿 鐘銘			

2-73	江戸時代鑄成の梵鐘所在と作者の刻名		昭和11年8月
2-74	銘文覚書		
2-75	金工家年契 明治工芸年表 附録 博物館沿革		
2-76	明治大正昭和工芸家没年調		
2-77	法隆寺西室堂什茶の湯道具寄進状		
2-78	聖徳太子十七条憲法 東大寺大仏関係 玉葉所載		
2-79	漢鏡銘		
2-80	長屋長左衛門造 鉦砂銅湯沸		
2-81	新聞切抜		詳細は紙媒体「香取秀真資料(第一期寄贈分) 目録」を参照
2-82	洗馬駅前中野家寄託図書一覧表		
2-83	熊野速玉神社神宝目録		
2-84	三字経		
2-85	西京釜師系		
2-86	加州釜師三左衛門家系由緒書		
2-87	魔鏡他原稿5種		
2-88	支那の古銅器原稿		
2-89	尾張六角堂長光寺地蔵に関する伊東富太郎氏の書状		3通 伊東富太郎
2-90	尾崎元春氏書状		尾崎元春
2-91	香取・板谷両講師視察日程		
2-92	有卦入会決算報告		昭和2年
2-93	露伴展出品目録		
2-94	鏝阿寺由緒		
2-95	釜関係資料メモ		10種
2-96	南蛮釜、水瓶、湯瓶計測図		3葉
2-97	水指実測図		5葉
2-98	真形釜(松) 実測図(香取家蔵)		1葉
2-99	鹿楓文肩衝筒釜実測図		2葉 大阪 久保惣太郎氏蔵
2-100	水草秋草文銅風炉実測図		1葉 大阪 久保惣太郎氏蔵
2-101	山吹散真形釜実測図		佐藤千秀氏蔵
2-102	甲斐上野原保福寺資料		
2-103	郷土名工並助長奨励功労者小伝		昭和9年5月大阪府工芸協会刊
3: 拓本・写真		109ファイル G3	拓本、写真以外の資料は採録されていない場合がある
3-1	龍宝鏡	拓本3	美濃不破郡南宮真禪院
3-2	羽黒山鏡池発見鏡	拓本9	香取家
3-3	鏡	拓本2	浜中弥三郎氏
3-4	鏡	拓本21	個人
3-5	鏡	拓本18	古家実三氏(兵庫)
3-6	八代神社鏡	拓本7	伊勢志摩神島
3-7	鏡	拓本2	千葉健吉氏(船橋)
3-8	鏡 実測資料付	写真2、書簡2	愛知中島郡明治村日吉神社 香取秀真宛伊東富太郎封書1、葉書1
3-9	鏡	拓本6	
3-10	漢鏡	写真1	下野 野木神社 台紙に丸山瓦全書状貼付
3-11	梵鐘	拓本12	弘安3年、岐阜大垣徳勝寺
3-12	梵鐘	拓本9	本郷 教元寺
3-13	梵鐘	拓本3	慶長4年、香取家
3-14	梵鐘 虎・竹・蓮文	拓本2	岐阜養老郡多芸村
3-15	梵鐘 貞和鐘	写真1、拓本1	山梨 放光寺
3-16	梵鐘	拓本2	武蔵赤塚 泉福寺・真福寺
3-17	梵鐘	拓本6	応永21年、不破赤坂町勝山 安楽寺
3-18	梵鐘	拓本5	筑前早良郡内野村 西光寺
3-19	梵鐘	拓本5	日泰寺
3-20	梵鐘	拓本1	岐阜可児郡 熊野神社
3-21	梵鐘 鱧口	拓本11	岐阜可児郡相生村
3-22	梵鐘 鱧口	拓本8	
3-23	梵鐘	写真1	大谷 本願寺
3-24	梵鐘	写真1	名古屋 覚王寺
3-25	梵鐘	拓本1	下伊那郡下久堅村 文永寺
3-26	鱧口	拓本1	越後魚沼郡内吉谷村
3-27	鱧口	拓本4	埼玉大里郡歡喜院
3-28	鱧口	写真1、拓本1	山口今八幡神社
3-29	鱧口	拓本1	稲沢 万徳寺
3-30	鱧口	拓本1	立石寺 岩越二郎書状2通
3-31	古戸屋釜 松竹梅文 実測図付	拓本2、写真1	名古屋 森川勘一郎氏
3-32	古戸屋釜 竹梅文 実測図	拓本2、写真1	名古屋 森川馨氏
3-33	鱧口釜	拓本2	安田家
3-34	鱧口釜	写真1、拓本1	奥付藤実庵氏
3-35	真形釜 冊子付	拓本4	西脇清三郎
3-36	真形釜 霰地楓鹿文 実測図付	拓本4	細見氏
3-37	釜	拓本1	文和元年、中島小一郎氏
3-38	釜 雲龍文 少庵好2, 道庵好1, 岐阜五平氏1, 利 休好1, 横浜宝田氏2, 豊玉神社1	拓本8	
3-39	釜 鷲鷲文	拓本3	
3-40	十徳釜	拓本4	
3-41	五疋馬釜	拓本2	
3-42	釜	拓本16	
3-43	手取釜 古天猫	写真1	奥村藤実庵氏
3-44	霰三足釜 浄頓	写真1	奥村藤実庵氏
3-45	光悦四方釜 三昌	写真1	森川馨氏
3-46	鷹ヶ峰釜 名越三昌	写真1	奥村藤実庵氏
3-47	十王口宝珠釜 名越三昌	写真1	山口浄雄氏
3-48	甌口釜 名越浄祐	写真1	奥村藤実庵氏
3-49	法華堂釜 名越昌孝	写真1	奥村藤実庵氏
3-50	肩衝筒釜 大西浄清	写真1	奥村藤実庵氏
3-51	肩衝四方釜 大西浄清	写真1	奥村藤実庵氏
3-52	真形釜 大西浄清	写真2	奥村藤実庵氏
3-53	阿弥陀堂釜 辻与次郎	写真1	山口浄雄氏
3-54	阿弥陀堂釜 辻与次郎	写真1	奥村藤実庵氏
3-55	九輪釜 辻与次郎	写真1	奥村藤実庵氏
3-56	青紐釜 初代寒雉	写真1	西脇清三郎氏
3-57	龜釜 3代寒雉	写真1	奥村藤実庵氏
3-58	平丸釜 堀山城	写真1	奥村藤実庵氏
3-59	立鼓形釜 道爺	写真1	奥村藤実庵氏
3-60	五疋馬釜 実測図付き	写真1	東京国立博物館

3-61	釜	写真1	東京国立博物館
3-62	四副神釜	写真1	土橋氏
3-63	釜 桐文	写真1	中村與助氏
3-64	釜 葡萄文	写真1	斎藤能躬氏
3-65	真形釜 蹴鞠文	写真1	式守鍋牛氏
3-66	釜	写真1	香取家
3-67	釜	写真1	伊藤次郎左衛門氏
3-68	平蜘蛛釜	写真2	瀬川昌善氏
3-69	真形釜 鹿文	写真1	大西清右衛門氏
3-70	真形釜 笹文	写真1	山本又五郎氏
3-71	釜	写真1	正木直彦氏
3-72	釜	写真3	西脇清三郎氏
3-73	釜 鳥鷲文	写真2	由井彦太郎氏
3-74	釜 老松文	写真1	盛岡 光照寺
3-75	釜	写真1	奈良 慈光寺
3-76	大釜	写真2	奈良興福寺 大湯屋
3-77	湯釜	写真1	大和吉野 世尊寺
3-78	釜	写真12	
3-79	釜 箱書	写真5	
3-80	風爐 子鬼	写真1	東京芸術大学
3-81	風爐 荒磯大欠	写真1	北岡猪三郎氏
3-82	風爐	写真3	
3-83	鉄仏	写真1	名古屋功德院
3-84	阿弥陀仏	写真1	滋賀 善水寺
3-85	弥勒仏	写真1	岡寺
3-86	弥勒仏	写真1	野中寺
3-87	仏像 (尊名不明)	写真3	細見氏
3-88	仏像 (尊名不明)	写真2	細見氏
3-89	仏像 背銘	拓本1	福島県西白河郡信夫村大日堂
3-90	五鈷	写真1	
3-91	提子	写真3	
3-92	灯籠	写真1	岡山 国清寺
3-93	盤	写真1	伊勢 専修寺
3-94	盤	写真2	細見氏
3-95	浴地螺鈿御太刀	写真4	春日神社
3-96	龍頭	写真1	奉徳寺
3-97	金工品 雑	写真8	鹿島伝蔵氏
3-98	金工品 雑	写真47	鹿島伝蔵氏
3-99	笈	拓本2	諏訪 仏法寺
3-100	寒山拾得碑 (鉄舟讃)	拓本3	熱海 温泉寺
3-101	擬宝珠	拓本3	三重多度村 多度神社
3-102	光悦色紙屏風	写真1	久遠寺
3-103	李朝四方蓋もの	拓本2	岡谷 片倉氏
3-104	薬師寺台座	写真1	薬師寺
3-105	宝篋印塔	拓本1	石城寺 薬王寺
3-106	仏心禅師 骨器銘文	拓本10	円覚寺
3-107	小笠原長清 威骨器	写真2	岐阜 荘福寺
3-108	工芸各種	写真18	伊藤氏
3-109	拓本 雑	拓本2	拓本2
4 : 印譜		29ファイル G3	印譜以外の資料は採録されていない場合がある
4-1	印譜	75種79枚	詳細は紙媒体「香取文庫資料目録」を参照
4-2	大和古印 麻左比古印	1	
4-3	古印集1	38種101枚	詳細は紙媒体「香取文庫資料目録」を参照
4-4	古印集2	9種22枚	詳細は紙媒体「香取文庫資料目録」を参照
4-5	印影 鰐淵寺	1	
4-6	印影 松虫寺	1	千葉 印鑑部
4-7	印影 長林寺	2	足利
4-8	印影 鏝阿寺	2	足利
4-9	印影 銅印	1	丹生神社 (伊勢)
4-10	印影 木印	1	氷室神社 (奈良)
4-11	印影	1	漆川神社
4-12	印影	9	諏訪神社
4-13	伊保国印	1	大高西行氏
4-14	印影	1	柿木寸鉄氏
4-15	秦印	1	安田善次郎氏
4-16	銅印	1	横山大観氏
4-17	古銅印	1	松井淳風氏
4-18	銅印	1	堀江滝三郎氏
4-19	印影	1	中村不折氏
4-20	大阪帝国大学図書印	3	香取秀真作
4-21	印影	2	香取秀真作
4-22	印影	1	池田雄一郎氏
4-23	私印	1	平塚運一氏
4-24	印稿 (楠山篆)	1	
4-25	私印	1	高階研一氏
4-26	私印	1	小林正盛大僧正
4-27	安田文庫印	3	
4-28	倭古印	1	
4-29	印影 各種	43	
5 : 書籍		63点 G3, F1	
E03  13920	随筆ふいご祭	G3	香取秀真/学芸書院
E03  13872	金鼓と鯛口	G3	香取秀真/香取秀真
E03  13927	金工史談	G3	香取秀真/桜書房
E03  13928	続金工史談	G3	香取秀真/桜書房
E03  13921	日本鑄工史	G3	香取秀真/郷土研究社
E03  13922	日本鑄工史稿	G3	香取秀真/甲寅叢書刊行会
E03  13923	日本鑄工史稿	G3	香取秀真/甲寅叢書刊行会
E03  13924	日本鑄工史稿	G3	香取秀真/甲寅叢書刊行会
E03  13914	江戸鑄師名譜	G3	香取秀真/香取秀真
E05	日本名画古代文様類集	G3	田中茂一/田中繁薄堂
5-1	鑄家譜	F1	明治38年 名越昌次蔵
5-2	鑄家系	F1	尾張隨意室蔵板

5-3	新撰釜師系譜	F1	昭和7年3月	香取秀真
5-4	新撰釜師系譜	F1	昭和7年3月	香取秀真
5-5	大日本釜師之系譜	F1	大正6年	掘 浄親
5-6	新撰釜師系譜	F1	大正3年12月	香取秀真
5-7	新撰釜師系譜	F1	大正3年12月	香取秀真
5-8	新撰釜師系譜	F1	大正3年12月	香取秀真
5-9	新撰釜師系譜	F1	大正3年12月	香取秀真
5-10	稿本武蔵梵鐘志 別巻	F1	昭和6年7月	鶴田勢湖 原寛書店
5-11	史蹟名勝天然記念物調査報告書 11 梵鐘集録	F1	昭和18年3月	神奈川県
5-12	史蹟名勝天然記念物調査報告書 11 梵鐘集録	F1	昭和18年3月	神奈川県
5-13	史蹟名勝天然記念物調査報告書 12 梵鐘號	F1	昭和22年8月	神奈川県
5-14	史蹟名勝天然記念物調査報告書 12 梵鐘號	F1	昭和22年8月	神奈川県
5-15	史蹟名勝天然記念物調査報告書 12 梵鐘號	F1	昭和22年8月	神奈川県
5-16	史蹟名勝天然記念物調査報告書 13 梵鐘號	F1	昭和23年2月	神奈川県
5-17	梵鐘	F1	昭和24年2月	松居良典 高岡老子製作所
5-18	梵鐘の知識	F1	昭和24年3月	青木一郎 日本華道学院
5-19	Experimental Studies on the Sound of a Japanese Temple-Bell ("Ojikicho" in Myoshinji-Temple)	F1	Memoires of the College of Science. Series A 15-5	抜刷 1932, Aoki Ichiro, Kyoto University
5-20	Study of the Sound emitted by the Japanese "Dohachi"	F1	Memoires of the College of Science. Series A 16-6	抜刷 1933, Aoki Ichiro, Kyoto University
5-21	Experimental Investigation on the Sound Emitted by Japanese Hanging-Bell s	F1	Memoires of the College of Science. Series A 19-6	抜刷 1936, Aoki Ichiro, Kyoto University
5-22	梵鐘の振動の形に関する一つの理論	F1	京都高等工芸学校創立40周年記 昭和17年5月	記念論文集別刷 青木一郎
5-23	梵鐘の駒の爪の形の変遷	F1	京都工芸専門学校創立45周年記 昭和23年4月	記念論文集抜刷 青木一郎
5-24	打撃による梵鐘の永久変形に就て	F1	京都工芸専門学校創立45周年記 昭和23年4月	記念論文集抜刷 青木一郎・山本登
5-25	鐘音の唸りについて	F1	京都工芸専門学校創立45周年記 昭和23年4月	記念論文集抜刷 青木一郎
5-26	鐘音の基本音の唸りに関する一考察	F1	京都工芸専門学校創立45周年記 昭和23年4月	記念論文集抜刷 青木一郎・稲川正義
5-27	梵鐘の基本音の振動数及び唸りの測定	F1	京都工芸専門学校創立45周年記 昭和23年4月	記念論文集抜刷 青木一郎
5-28	京都法輪寺鐘の音響	F1	京都工芸専門学校創立45周年記 昭和23年4月	記念論文集抜刷 青木一郎
5-29	知恩院大鐘の周波数測定	F1	京都工芸繊維大学京都工芸専門学校論文集第7集昭和25年4月	抜刷 青木一郎・成田洋・山口康夫
5-30	愛知県三河地区の古鐘に対する調査	F1	京都工芸繊維大学京都工芸専門学校論文集第7集昭和25年4月	抜刷 成田洋
5-31	対馬の梵鐘と銅鉦	F1	東方考古学叢刊乙種6「対馬」抜刷 昭和28年1月	坪井良平
5-32	佐野天明鑄物略記	F1	昭和22年7月	両毛史学会 佐野鑄工協同組合 (刊)
5-33	佐野 篠崎源三	F1	昭和22年6月	佐野美術協会
5-34	天明鑄物	F1		丸山瓦全
5-35	天明鑄物	F1		丸山瓦全
5-36	福島県下に於ける栃木県の鑄物師の作品	F1		白桃第23号別刷 岩越二郎
5-37	足利都市鐘銘集	F1	昭和19年7月	丸山瓦全
5-38	古鏡銘考釋	F1	昭和6年4月	水谷悌二郎
5-39	大和片桐村の金石文 (抜刷)	F1		高田十郎
5-40	南部のほまれ	F1	明治42年3月5日第5版	成瀬徳太郎
5-41	岩手県鑄工年表	F1	昭和2年5月	瀬川宗兵衛 太田孝太郎
5-42	粉河鑄工史	F1		逸木盛照
5-43	長崎の鑄物師	F1	昭和28年12月	渡辺庫輔
5-44	中世の鑄物業 歴史地理67巻1号2号 抜刷	F1	昭和11年	豊田武
5-45	古美術便覧 (大津, 京都, 大和)	F1	昭和27年4月	東京国立博物館
5-46	大日本仏法根元寺院最初太子山向原寺伝記	F1		吉原龍蔵 吉原豊龍堂
5-47	稿本 考古年表	F1	大正6年5月	小泉栄次郎 聚精堂
5-48	数寄道具	F1	安永9年	柏原屋清衛門 小川屋六蔵 版本
5-49	鉄砲洲燈籠図	F1	大正14年11月	山田清作 米山堂
5-50	南縁隨筆	F1	昭和26年11月	木村莊八 河出書房
5-51	造塔 第15年	F1	昭和24年10月	服部清道
5-52	造塔 第15年 2号	F1	昭和24年12月	服部清道
5-53	造塔 第15年 1号	F1	昭和25年3月	服部清道
6: 書状類		13ファイル	G2	
6-1	中村不折氏書状			昭和13年
6-2	中村不折氏葉書			昭和13年
6-3	田沢金吾氏宛 秀真書状			
6-4	北原三佳氏葉書			昭和27年
6-5	丸山瓦全氏書状			昭和16年
6-6	平塚連一氏葉書			昭和12年
6-7	平塚連一氏葉書			昭和24年
6-8	木村莊八氏書状			昭和27年
6-9	木村莊八氏書状			昭和27年
6-10	木村莊八氏書状			昭和27年
6-11	見積書 学芸書院			
6-12	見積書 大塚工芸社			
6-13	見積書 半七写真整版印刷所			
7: 追加受入れ資料		39ファイル	G1, F3	
追-1	印影 (封筒入り)			F3
追-2	印稿 昭和13年12月末/計測			F3 宝珠、梵鐘、釜などの計測も含む

追-3 印稿 昭和21年11月 8 日	F3
追-4 香取秀真先生印譜	F3 奥付無/序には「昭和 21年11月新嘗祭南信里山辺にて」
追-5 十五松庵鑄印譜	F3 信濃の山村云々/「昭和二十三年七十五叟香取秀真」
追-6 第二次梅翁作鑄印譜	F3 昭和二十一年里山辺に於て云々(巻頭)
追-7 梅花翁鑄印	F3 各巻巻末に索引/大原野大神璽~香取1巻/正宗~梅軒1巻
追-8 梅花翁鑄印	F3 正宗~梅軒1巻
追-9 梅花翁鑄印/秀真翁印譜	F3 帙裏に「昭和二十三歳次戊子三月十八日彼岸第一日秀真蔵」
追-10 龍虎繡繡	F3 この印譜は余の旧作・古印云々「昭和二十四年九月 二十六日於鶴沼香取秀真」
追-11 六斎鉄筆譜	F3 昭和二十年四月以降中信云々/「昭和二十一年八月七日誌秀真」
追-12 瘦瓢子花卉 四季冊	F3 昭和21年5月
追-13 雲烟帖	F3 昭和 22~28年
追-14 画びき 昭和二十二年十一月三十日	G1 ケース別置
追-15 画橋	F3
追-16 画本禽獸	F3
追-17 絵面控帳昭和十八年蠟梅秀真	F3
追-18 入都過眼画梨	F3 「昭和二十一年四月熱海まで三日四日過眼也」(表紙)
追-19 布袋帖	F3
追-20 宝船十艘	F3 「昭和二十七年七月三十一日香取秀真」(巻頭)
追-21 長楽帖丁亥十月初吉	F3 昭和21~28年
追-22 入山辺田端蔵	F3 「昭和十八年八月入山辺にて秀真」(巻末)
追-23 圓月帖昭和十九年甲申七月	G1
追-24 露山荘画会帳昭和 十八年八月二二日	G1 写真下に作者名と歌
追-25 きはめ書 控	F3
追-26 孔雀御香爐	F3
追-27 桂宮万葉集 臨書	F3
追-28 洪鐘本源経	F3
追-29 秀真撰 都きしきし	F3
追-30 諸職受領調抄	F3
追-31 諸方詠物控	F3
追-32 探古雑抄	F3
追-33 篆隸楷草帖	F3
追-34 岡山玉井氏蔵昭和14年12月2日岩越拓、他	F3 拓本、手稿
追-35 随筆ぬきかき首巻、1~5、索引	F3 「昭和二十三年四月二十八日成」
追-36 文字瓦井復印	F3
追-37 此四君子圖拓本	F3
追-38 慶長以後鯉口郡誌抜書等	F3
追-39 鯉口1~6 /未使用箋 2 冊	F3
8: 日記・歌集	75ファイル F1, F2 シリーズ8 詳細(算数・用紙種類・筆記具等)は、下の別表。
A-1 行雲流水	F1 昭和17年7月29日~ 昭和19年8月12日 ケース付き
A-2 大正八年己未自一月至三月日記	F1 大正8年1月1日~大正8年3月11日
A-3 入山辺	F1 昭和19年5月2日~昭和19年12月31日
A-4 永壽泰寧	F1 昭和19年7月15日~昭和20年10月31日
A-5 長生院裡	F1 昭和21年9月23日~昭和21年10月27日
A-6 名々止利	F1 昭和21年10月28日~昭和22年1月6日
A-7 里山辺より鶴沼	F1 昭和21年6月24日~昭和24年8月27日
A-8 上都日記	F1 昭和21年3月26日~昭和21年4月15日
A-9 山辺集	F1 昭和21年2月22日~昭和22年4月16日
A-10 松の浜日記	F1 昭和 21年4月27日~昭和21年6月8日
A-11 颯爽帖	F1 昭和21年9月~昭和22年10月
A-12 七取村香取日記	F1 昭和21年10月19日~昭和22年9月18日
A-13 なな取の香取	F1 昭和22年1月18日~昭和22年9月2日
A-14 麻王帖	F1 昭和23年10月14日~昭和24年7月10日
A-15 鳳鳴帖	F1 芳名録・記名帳。書簡(差出人:三輪真吉)挟み込みあり
A-16 寒露帖	F1 昭和27年10月16 日 ~ 昭和27年10月25日
A-17 壽像松本日記	F1 昭和28年9月3日~昭和28年9月9日
A-18 世田谷日録肆	F1 昭和26年4月15日~昭和26年10月31日
A-19 世田谷日録伍	F1 昭和26年11月1日~昭和27年12月31日
A-20 八十世田谷日録六	F1 昭和28年1月1日~昭和28年10月26日
A-21 世田谷集	F1 昭和26年4月15日~昭和28年12月
A-22 十五松庵日記	F1 昭和24年9月1日~昭和24年12月31日
A-23 十五松庵日記壺	F1 昭和25年1月1日~昭和25年5月31日
A-24 十五松庵日記式	F1 昭和25年6月1日~昭和25年11月15日
A-25 十五松庵日記参	F1 昭和25年11月16日~昭和26年4月15日
A-26 新月歌会集	F1 明治31年10月16日~昭和23年11月23日
A-27 菓子の色々	F1
A-28 思考の記	F1 明治25年5月~明治26年1月
A-29 磐古楼日記巻之一	F1 明治29年11月14日~明治30年1月31日
A-29 磐古楼日記巻乃二	F1 明治30年2月1日~明治31年12月31日
A-29 磐古楼日記巻三	F1 明治32年1月14日~明治34年10月2日
A-30 日晷日記	F1 明治35年9月16日~明治36年11月17日
A-31 歌稿天之真榊集	F2 明治35年4月2日~昭和2年12月
A-32 病床日記	F2 昭和2年12月24日~昭和3年11月27日
A-33 (「心の華」第二巻~)	F2 明治32年1月~明治37年7月
A-34 備忘録	F2 明治24年9月24日~
A-35 歌龍	F2 明治26年2月~
A-36 ななし草	F2 明治27年1月~明治27年3月23日
A-37 (日記)	F2 昭和16年4月1日~昭和19年8月1日※表紙手帳
A-38 穂舎野	F2 昭和20年11月1日~昭和21年3月16日
A-39 入山辺	F2 昭和19年1月1日~昭和20年4月20日
A-40 里山辺	F2 昭和20年4月21日~昭和20年6月8日
A-41 雁燕去来	F2 昭和20年4月29日~昭和24年8月29日
A-42 梅華亭雜記巻一	F2 昭和19年10月23日~昭和19年12月28日
A-43 梅華亭雜記巻二	F2 昭和19年12月28日~昭和23年11月21日
A-44 梅華亭雜記	F2 昭和22年2月22日~
A-45 松庵繡綴	F2
A-46 長■帖	F2 写生帖
A-47 (R.K スケッチブック)	F2 昭和28年11月9日~昭和29年1月23日

A-48	よろつひかへ	F2	昭和3年10月18日～昭和4年4月4日
A-49	(「ほつまの草紙」画稿?)	F2	スケッチ
A-50	「遷厝以後」特製巻頭に特に式紙を挿み それにかきたい歌の控	F2	歌集・和紙・毛筆
A-51	天之真禰選歌	F2	明治31年～明治34年
A-52	(歌稿) 和紙に毛筆4葉	F2	歌集・和紙・毛筆：和紙に毛筆4葉、原稿用紙に毛筆1葉、和紙を綴じた
A-53	吉江善男氏依頼画にかきたる歌控え	F2	歌集・和紙・毛筆
A-54	画にかきたる歌ども	F2	昭和22年7月20日
A-55	萬控帳	F2	昭和22年11月26日～昭和23年1月
A-56	ほつまの冊子 うた	F2	
A-57	(秀真草子抜き書き・正岡家に贈ったもの) 封筒2封	F2	歌集・和紙・毛筆
A-58	梅花亭新刊古典賞入帳	F2	昭和5年庚午1月
A-59	南海西海道紀伊淡路阿波	F2	調査記録「諸国の鋳物師(黄)」に収納
A-60	能登越中	F2	調査記録「諸国の鋳物師(黄)」に収納
A-61	北陸若狭越前加賀	F2	調査記録「諸国の鋳物師(黄)」に収納
A-62	山陰二但馬	F2	調査記録「諸国の鋳物師(黄)」に収納
A-63	越後佐渡	F2	調査記録「諸国の鋳物師(黄)」に収納
A-64	山陽播磨以下長州迄	F2	調査記録「諸国の鋳物師(黄)」に収納
A-65	山陰丹波丹後	F2	調査記録「諸国の鋳物師(黄)」に収納
A-66	(補遺)	F2	調査記録「諸国の鋳物師(黄)」に収納
A-67	東海道下武蔵	F2	調査記録「諸国の鋳物師(赤：昭和29年6月中旬三朗製)」に収納
A-68	神奈川県梵鐘集録抜書 毛利庄荻野住鋳物師	F2	調査記録「諸国の鋳物師(赤：昭和29年7月中旬三朗製)」に収納
A-69	相模足利下郡 千津島住鋳物師	F2	調査記録「諸国の鋳物師(赤：昭和29年8月中旬三朗製)」に収納
A-70	東海上 伊賀伊勢	F2	調査記録「諸国の鋳物師(赤：昭和29年9月中旬三朗製)」に収納
A-71	東山 信濃上野下野	F2	調査記録「諸国の鋳物師(赤：昭和29年10月中旬三朗製)」に収納
A-72	東山 近江、美の、飛騨	F2	調査記録「諸国の鋳物師(赤：昭和29年11月中旬三朗製)」に収納
A-73	畿内	F2	調査記録「諸国の鋳物師(赤：昭和29年12月中旬三朗製)」に収納
A-74	東山 岩城岩代陸中陸奥羽前羽後	F2	調査記録「諸国の鋳物師(赤：昭和29年13月中旬三朗製)」に収納
A-75	直島鋳工名譜	F2	(■井良■による戦時供出鐘の調査記録)
9：原稿類	封筒10封	G4	シリーズ9. 詳細(論文名・掲載誌等)は、下の別表。
	原1～38	封筒1封	
	原39～164	封筒1封	
	原165 随筆金工談叢	封筒1封	
	原166 古随筆の金工叢話	封筒1封	
	原167～190	封筒1封	
	原191 江戸鋳物師名譜原稿	封筒1封	
	原192 日本金工史腹案	封筒1封	
	原193～194 (鋳物師文書)(御鋳物師奉公会書類)	封筒1封	(附：雑誌「新岩山人」12-2～4, S7.2～4)
	原195～196 江戸鋳物師名譜作品索引原稿	封筒1封	
	原197 江戸鋳物師名譜原稿	封筒1封	
10：未整理資料	封筒3封	G1奥	
	なし 拓1枚、封筒と写真各1枚	封筒1封	2-31と2-32の間にあったもの
	なし 封書(今井真樹より香取秀真宛書簡)	封筒1封	2-52と2-53の間にあった封書1通(封筒1枚、便箋3葉、葉書1通、印影1葉)
	なし 未整理資料1括	封筒1封	G4引き出しにあったもの

## 香取秀真旧蔵資料&gt;シリーズ8. 日記・歌集

■は判読不能な文字をあらわす

資料番号	表題	種別	記入開始日	終了日	葉数 (表紙 及び未 記入の 用紙を 除く)	主な用紙	主に使用され た筆記具
A-1	行雲流水	日記	19420729	19440812	131	和紙	毛筆
A-2	大正八年己未自一月至三月日記	日記	19190101	19190311	28	汎用日記	毛筆
A-3	入山辺	日記	19440502	19441231	27	原稿用紙	鉛筆
A-4	永壽泰寧	日記	19440715	19451031	93	ノート	鉛筆
A-5	長生院裡	日記	19460923	19461027	19	メモノート	鉛筆
A-6	名々止利	日記	19461028	19470106	7	メモノート	鉛筆
A-7	里山辺より鶴沼	日記	19460624	19490827	43	和紙	毛筆
A-8	上都日記	日記	19460326	19460415	19	和紙	毛筆
A-9	山辺集	日記	19460222	19470416	16	和紙	毛筆
A-10	松の浜日記	日記	19460427	19460608	69	罫紙(遠兵製無双 五行)	毛筆
A-11	颯爽帖	日記・記名帖	19460900	19471000	46	原稿用紙(翰墨録 九華堂厚記)	毛筆
A-12	七取村香取日記	日記	19461019	19470918	82	和紙・原稿用紙	毛筆
A-13	なな取の香取	歌集	19470118	19470902	16	和紙	毛筆
A-14	麻王帖	スケッチ・メモ	19481014	19490710	8	スケッチブック	鉛筆
A-15	鳳鳴帖	記名帖	19480430	19530919	48	和紙	毛筆
A-16	寒露帖	日記	19521016	19521025	12	和紙	毛筆
A-17	壽像松本日記	日記	19530903	19530909	15	和紙	毛筆
A-18	世田谷日録肆	日記	19510415	19511031	57	和紙	毛筆
A-19	世田谷日録伍	日記	19511101	19521231	52	和紙	毛筆
A-20	八十世田谷日録六	日記	19530101	19531026	36	和紙	毛筆
A-21	世田谷集	歌集	19510415	19531200	28	和紙	毛筆
A-22	十五松庵日記	日記	19490901	19491231	51	和紙	毛筆
A-23	十五松庵日記壹	日記	19500101	19500531	58	和紙	毛筆
A-24	十五松庵日記貳	日記	19500601	19501115	55	和紙	毛筆
A-25	十五松庵日記参	日記	19501116	19510415	55	和紙	毛筆
A-26	新月歌会集	歌集	18981016	19481123	71	和紙	毛筆
A-27	菓子の色々	随筆	0	0	21	和紙	鉛筆
A-28	思考の記	随筆	18920500	18930100	28	和紙	毛筆
A-29	磐古楼日記卷之一	日記	18961114	18970131	13	和紙	毛筆
A-29	磐古楼日記卷乃二	日記	18970201	18981231	50	和紙	毛筆
A-29	磐古楼日記卷三	日記	18990114	19011002	108	和紙	毛筆
A-30	日暮日記	日記	19020916	19031117	18	和紙	毛筆
A-31	歌稿天之真榊集	歌集	19020402	19271200	100	和紙	毛筆
A-32	病床日記	日記	19271224	19281127	13	和紙	毛筆
A-33	(「心の華」第二巻一～)	備忘録	18990100	19040700	4	和紙	毛筆
A-34	備忘録	賞書	18910924	0	51	和紙	毛筆
A-35	歌籠	歌集	18930200	0	12	和紙	毛筆
A-36	ななし草	歌集	18940100	18940323	9	和紙	毛筆
A-37	(日記)	日記	19410401	19440801	94	手帳	鉛筆
A-38	穂舎野	日記	19451101	19460316	76	日記帳	鉛筆
A-39	入山辺	日記	19440101	19450420	56	和紙	毛筆
A-40	里山辺	日記	19450421	19450608	9	和紙	毛筆
A-41	雁燕去来	日記・記名帖	19450429	19490829	198	罫紙	毛筆
A-42	梅華亭雜記卷一	備忘録	19441023	19441228	42	和紙	毛筆
A-43	梅華亭雜記卷二	備忘録	19441228	19481121	51	和紙	毛筆
A-44	梅華亭雜記	備忘録	19470222	0	41	罫紙	毛筆
A-45	松庵雜綴	(柴田宵曲、丸 山瓦全等より)	0	0	219	和紙	毛筆
A-46	長■帖	スケッチブック	19520720	19531008	9	和紙	水彩
A-47	(R.K.スケッチブック)	スケッチブック	19531109	19540123	11	画用紙	鉛筆
A-48	よるつひかへ	メモ	19281018	19290404	10	画用紙	ペン・鉛筆
A-49	(「ほつまの草紙」画稿?)	スケッチ	0	0	12	和紙	毛筆・水彩
A-50	「還暦以後」特製巻頭に特に式 紙を挿みそれにかきたい歌の控	歌集	0	0	5	和紙	毛筆
A-51	天之真榊選歌	歌集	18980000	19010000	9	和紙	毛筆
A-52	(歌稿)	歌集	0	0	12	和紙	毛筆
A-53	吉江善男氏依頼画にかきたる歌控	歌集	19470700	19470700	4	和紙	毛筆
A-54	画にかきたる歌ども	歌集	19470720	19470720	6	和紙	毛筆
A-55	萬控帳	メモ	19471126	19480100	11	便箋など	毛筆
A-56	ほつまの冊子 うた (秀莫草紙抜き書き・正岡家に贈ったものの控 え?)	歌集	0	0	20	原稿用紙	ペン
A-57	梅花亭古典新刊買入帳	備忘録	19300100	19300221	2	和紙	毛筆
A-59	諸国の鑄物師南海西海道紀伊淡路阿波	調査記録	0	0	76	原稿用紙	ペン
A-60	諸国の鑄物師能登越中	調査記録	0	0	123	原稿用紙	ペン
A-61	諸国の鑄物師北陸若狭、越前、加賀	調査記録	0	0	82	原稿用紙	ペン
A-62	諸国の鑄物師山陰二但馬	調査記録	0	0	65	原稿用紙	ペン
A-63	諸国の鑄物師越後佐渡	調査記録	0	0	91	原稿用紙	ペン
A-64	諸国の鑄物師山陽播磨以下長州迄	調査記録	0	0	112	原稿用紙	ペン
A-65	諸国の鑄物師山陰丹波丹後	調査記録	0	0	75	原稿用紙	ペン
A-66	諸国の鑄物師(補遺)	調査記録	0	0	17	原稿用紙	ペン
A-67	諸国の鑄物師東海道下武蔵	調査記録	0	0	116	原稿用紙	ペン

## Tokyo National Research Institute for Cultural Properties

A-68	物師	調査記録	19540626	19540627	17	原稿用紙	ペン
A-69	諸国の鑄物師相模足柄下郡千津島住鑄物師	調査記録	0	19540627	10	原稿用紙	ペン
A-70	諸国の鑄物師東海上伊賀伊勢	調査記録	0	0	117	原稿用紙	ペン
A-71	諸国の鑄物師東山信濃上野下野	調査記録	0	0	119	原稿用紙	ペン
A-72	諸国の鑄物師東山近江、美の、飛騨	調査記録	0	0	89	原稿用紙	ペン
A-73	諸国の鑄物師畿内	調査記録	0	0	133	原稿用紙	ペン
A-74	諸国の鑄物師東山岩城岩代陸中陸奥羽前羽後	調査記録	0	0	58	原稿用紙	ペン
A-75	直島鑄工名譜	(■井良■による戦時供出鐘の調査記録)	0	0	181	原稿用紙	ペン

## 香取秀真旧蔵資料&gt;シリーズ9. 原稿

■は判読不能な文字をあらわす

通番	原稿タイトル	初出年月日	初出誌	葉数
1	金工清談	19420600	古美術1 3 7	9
2	古金石に現はれたる雲文	19320100	宝雲1	6
3	水滴図解	19340115	日本及日本人	16
4	和鏡図解	19350211	日本及日本人	17
5	茶の湯釜の話	19411000	美術懇話会会報76	16
6	金属工藝に関する職人絵尽の解	19280100	中央史壇1 4 -1	8
7	鐘の声	19500000	(放送原稿?)	6
8	鐘の話	19531100	(信濃東昌寺つきぞめ時の講演)	6
9	南部領内の吉金文(二)	19120800	考古学雑誌2-12	15
10	南部領内の吉金文	19120400	考古学雑誌2-8	6
11	(後藤祐乘四百二十四年正忌祭文)	19350507	—	2
12	釣鐘の話	19380525	科■雑記2	15
13	那智発掘の大日像	0	画説	8
14	函根より	19390900	画説	5
15	唐物九兵衛	19420100	画説60	6
16	(文献リスト:東洋の美術に就いて~)	0	—	7
17	金子静枝の伝記	19400600	画説42	7
18	豆のり	19530115	月明16 -1	4
19	茶湯釜	19400100	星岡110	7
20	釜の話	19321100	茶と花	6
21	撞き初め_東昌寺梵鐘再建撞初式における作者の言葉	19540100	大法輪21-1	6
22	釣鐘の寸法	19150800	考古学雑誌5 -12	9
23	御正體(懸佛)に就いて	19420400	古美術	8
24	銘物花入「有明月」	19410900	画説57	2
25	東洋の美術に就いて	19521000	天地人2	
26	支那の古工藝	19371100	塔影13-11	13
27	工藝談義	19480500	月明11-3	8
28	正倉院御物	19491107	報知新聞	6
29	戦争と古美術の保存	19450521	信濃毎日	4
30	決戦下の銅像供出	19430321	東京朝日	5
31	祝辞	19471214	(津田信夫像除幕式に際して)	2
32	原安民の事	19290300	芸天	3
33	工藝談義	19480515	月明11-3	8
34	蘆屋作楓鹿図文鐵釜に就て	19480800	国華677	13
35	近詠十九首	19370100	画説1	4
36	大嶋如雲先生の追憶	19410200	大嶋如雲先生年譜	19
37	書籍雑記	0	(未完)	2
38	鐘の声	0	(放送原稿?)	10
39	鶴と亀	0	—	5
40	木瀬といふ鏡師	0	—	3
41	撞鐘をわる事	0	—	5
42	負局か事	0	—	4
43	銅鏡を磨く法	0	—	2
44	銅鏡鼻_手鏡	0	—	1
45	花立の底に鏡	0	—	2
46	鏡のかけで飴を買ふ	0	—	2
47	多度の鏡	19470827	(記?)	12
48	湖州鏡	0	—	6
49	天狗の金印	0	—	3
50	文晁の銅印	0	—	6
51	安成と天愚孔平	0	—	3
52	古印を使用した人々	0	—	2
53	印刀	0	—	2
54	伊勢の辻越後	0	—	12
55	伊勢蘆屋釜	0	—	2
56	粟田口善輔	0	—	5
57	平くも釜	0	—	2

## Tokyo National Research Institute for Cultural Properties

58	阿彌陀堂釜	0	—	1
59	阿彌陀堂釜の事	0	—	1
60	阿彌陀堂釜一名猪首釜	0	—	2
61	お鉢	0	—	1
62	鍋と釜のこと	0	—	3
63	箱根権現の釜	0	—	4
64	切戸文珠の湯釜	0	—	4
65	鉦鼓	0	—	3
66	朝鮮の金鼓	0	—	3
67	金鼓	0	—	5
68	金鼓のこと（胡桃澤勘内君手紙）	0	—	4
69	鉦と鰐口	0	—	1
70	壬生地蔵堂金鼓	0	—	1
71	わにくちは金鼓	0	—	1
72	鰐口	0	—	6
73	南北朝時代の鰐口	0	—	5
74	甲州山梨郡磬銘	0	—	1
75	三州銅鐸	0	—	4
76	河内国掘出し候鐘	0	—	1
77	土中の宝物	0	—	2
78	地中埋蔵物夢枕にたつ	0	—	2
79	野寺のかね（いもかね）	0	—	3
80	土中発掘の熱海保善院鐘	0	—	5
81	上総長柄山胎蔵寺鐘	0	—	1
82	疣なしの鐘	0	—	1
83	龍鐘を愛す	0	—	4
84	瀬田橋ノ下ヨリ喚鐘	0	—	1
85	海中より引揚げたる鐘	0	—	4
86	五十年目に海より上りたる鐘	0	—	4
87	浅草観音の鐘銘の解	0	—	2
88	浅草寺至徳四年鐘銘の改削	0	—	4
89	弘前長勝寺鐘銘	0	—	3
90	東臯心越の鐘銘	0	—	1
91	隠元禅師草書の鐘銘	0	—	1
92	深草元政上人鐘銘	0	—	5
93	押上妙見鐘銘奇談の事	0	—	1
94	養福寺の鐘	0	—	2
95	浅草西福寺の破水鐘楼	0	—	1
96	一谷須磨寺の鐘	0	—	1
97	朝鮮鐘	0	—	3
98	朝鮮鐘写莫集以後のもの	0	—	6
99	亡失朝鮮鐘	0	—	2
100	高麗国鐘銘	0	—	2
101	愛宕寺鐘銘語（自鳴鐘）	0	—	2
102	鶴岡八幡鐘	0	—	2
103	鎌倉円覚寺鐘	0	—	3
104	黄鐘調	0	—	1
105	黄鐘調	0	—	3
106	黄鐘調	0	—	11
107	同形同調の金鼓	0	—	2
108	鐘撞ぞめ	0	—	2
109	雷電為右衛門の鐘	0	—	3
110	本久寺の鐘つきぞめ	0	—	2
111	京都方広寺鐘撞初	0	—	2
112	中山法華経寺鐘	0	—	4
113	但馬大門寺鐘	0	—	3
114	瑞雲山昌禅寺鐘供養差定（昭和二十二年六月八日）	0	—	4
115	槌鐘供養	19401223	（丸山瓦全記）	2
116	鐘鑄能里登	0	—	2
117	天狗に獲はれし鐘	0	—	4
118	摂津国来小屋寺盗鐘語	0	—	6

119	摂津国昆陽といふ所	0	—	2
120	鑄師たちの旅行	0	—	3
121	鑄掛師	0	—	3
122	和泉国尽恵寺銅像為盗人被壊語	0	—	3
123	四十八体仏の盗難	0	—	4
124	清涼寺の釈迦善光寺の弥陀	0	—	2
125	長光寺の地藏	0	—	4
126	吉祥寺の大仏	0	—	2
127	金堀を使ひ城をぬく	0	—	2
128	金堀	0	—	1
129	連句の金堀り	0	—	1
130	金山	0	—	1
131	歌合のかねほり	0	—	2
132	橋曙覧が飛驒の国堀名の鉦山を詠める歌 八首	0	—	6
133	船橋明神の神体	0	—	2
134	鍋蓋明神の神体	0	—	2
135	釜の神	0	—	4
136	昔ノ鉦ヲ（出雲産）沸ス法	0	—	2
137	銅材を造る方法を見る	0	—	4
138	鐘の鑄型を造るを見る	0	—	2
139	宣徳銅器用材	0	—	5
140	宣徳銅器に就て	0	—	3
141	不思議の香炉	0	—	3
142	鑄物師九兵衛のはなし	0	—	3
143	釜の色付	0	—	1
144	白■汁	0	—	1
145	金減金 銀減金 銀流し	0	—	1
146	銅を金に変ず	0	—	1
147	銅ノ氣鐵ノ氣	0	—	1
148	鉄瓶の会記	0	—	9
149	都牟刈_ゴング_クブヅチ_タチ_カヌ チ オロチ	19371208	(胡桃澤勘内よりの書簡)	5
150	風の事	1221	(胡桃澤勘内よりの書簡)	8
151	龍文堂安平の加賀行	0	—	2
152	原力造の遺作物	19140510	越後タイムス（村田聴泉記）	5
153	越後の鑄師	19120428	(村田聴泉よりの書簡)	4
154	岐阜の蠟型師吉田又五郎	0	—	2
155	西村雲松のこと	0	—	3
156	彫金池田民国	0	(新聞切り抜き)	2
157	豊川光長	0	—	3
158	黒沼槐山と続豊徳のこと	0	—	2
159	白崎亀次郎	0	—	1
160	大嶋如雲先生弔詞	19400108	—	1
161	天草神来友雄	0	—	1
162	横山算水の事に就て某に答ふ	0	—	1
163	今戸の陶工に二人の弁次郎	0	—	7
164	太田六右衛門の系図	0	—	7
165	随筆金工談叢	0	—	78
166	古随筆の金工叢話	0	—	400
167	(目次)	0	—	2
168	(句抜き書き)	0	—	5
169	(目次)	0	—	2
170	座右銘	19441228	梅花亭雑記2	1
171	正岡子規を憶ふ—五十年忌に際して—	19510917	秋田魁新報	4
172	子規先生の五十年	19521000	子規五十年祭協賛会刊行「正岡子規」	10
173	子規居士とうた	19511000	ゆうびん2-10	8
174	正岡子規居士の偈頌	19500400	大法輪	7
175	懐旧談	19491000	アララギ42-10~43-4	27
176	初めて子規居士を訪ふ	19511000	日本及日本人	12
177	岡麓君と私	19520500	アララギ45-5・6	35

## Tokyo National Research Institute for Cultural Properties

178	根岸短歌会の人々	19521100	現代短歌大系月報	4
179	歌俳交互翻訳	19490800	訝	7
180	煙草入	19030700	鶺鴒川	4
181	信州より	19430900	画説	1
182	歌碑除幕式挨拶	19431101	(入山辺にて)	2
183	婚礼祝辞	0	—	2
184	大猿のマシと小猿のヨモの問答	19470000	—	1
185	ほづま雑記	19360700	阿迦雲	7
186	書籍雑記	19520700	中央公論	11
187	私の生涯	19540100	中央公論	37
188	序	19541100	—志茂樹先生遠暦記念会編「地方研究論叢」	2
189	格堂の訃	19490100	合同俳句11	4
190	石井泰次郎翁のこと	19530400	料理の手帖	4
191	江戸鑄師名譜原稿	19140800	日本鑄工史稿	100
192	日本金工史腹案	19320000	日本金工史	156
193	(鑄物師文書)	0	—	46
194	(御鑄物師奉公会書類)	19430618	—	17
195	(江戸鑄師名譜作品索引)	19140800	日本鑄工史稿	27
196	江戸鑄師名譜作品索引(初校)	19140800	日本鑄工史稿	12
197	江戸鑄師名譜原稿	19140800	日本鑄工史稿	354